

ロジカルシンキング研修 ～情報を整理し、結論を導く～

■ねらい

時間や人員が限られる中、若手には早期に自主的に行動することが求められています。自主的に行動することは、指示された内容や情報を整理し、自身で意見や結論をまとめ、相手にわかりやすく伝えること（＝論理的思考力の習得）を指します。

本研修では、論理的思考力を鍛えるべく、ロジカルシンキングのフレームを用い、「いつ・どのように考えるべきなのか」を理解していただきます。若手でもわかりやすいよう、具体的な仕事の場面のケースに沿って、考えていただきます。

■テーマ概要

対象：若手

時間：1日

人数：20名

■カリキュラム一例

内 容

1. 若手の仕事とロジカルシンキング

- (1) ロジカルシンキングってなに？
【ワーク】どのような場面でロジカルシンキングが必要になるか考える
- (2) 自立的な仕事に移行するために
- (3) 仕事において意識すべき3つのこと
- (4) 3つのステップでロジカルシンキングを身に付ける

2. STEP① ～ 整理する

- 【ワーク】ミーティング内容を整理してまとめる
- (1) 整理の基本はグルーピング
- (2) モレなくダブリなく（M E C E）という考え方
- 【ワーク】モレなくダブリなく分類する
- 【ワーク】問題別に分類して、提出するメモを作る

3. STEP② ～ 結論を出す

- 【ワーク】整理した内容に、自分なりの考えを入れる
- (1) まず、目的を意識する
- (2) 「だから」と「なぜなら」（So What? / Why So?）
- 【ワーク】バラバラの情報を整理する練習
- 【ワーク】前述の整理したミーティングメモから結論を導き出す

4. STEP③ ～ 分かりやすく伝える

- 【ワーク】自分の結論を説明する
- (1) 結論重視で話す ～ P R E P法（プレップ法）
- 【ワーク】分かりやすく伝える練習
- 【ワーク】自分なりに導き出した結論を、分かりやすく説明してみる
- (2) その他の話の展開手法

5. 総合演習

- 【ワーク①】学んだ手法を使い、研修の内容を整理する
- 【ワーク②】整理した内容をどのように業務に活かすか考える
- 【ワーク③】その内容をメンバーに"論理的に分かりやすく"話す